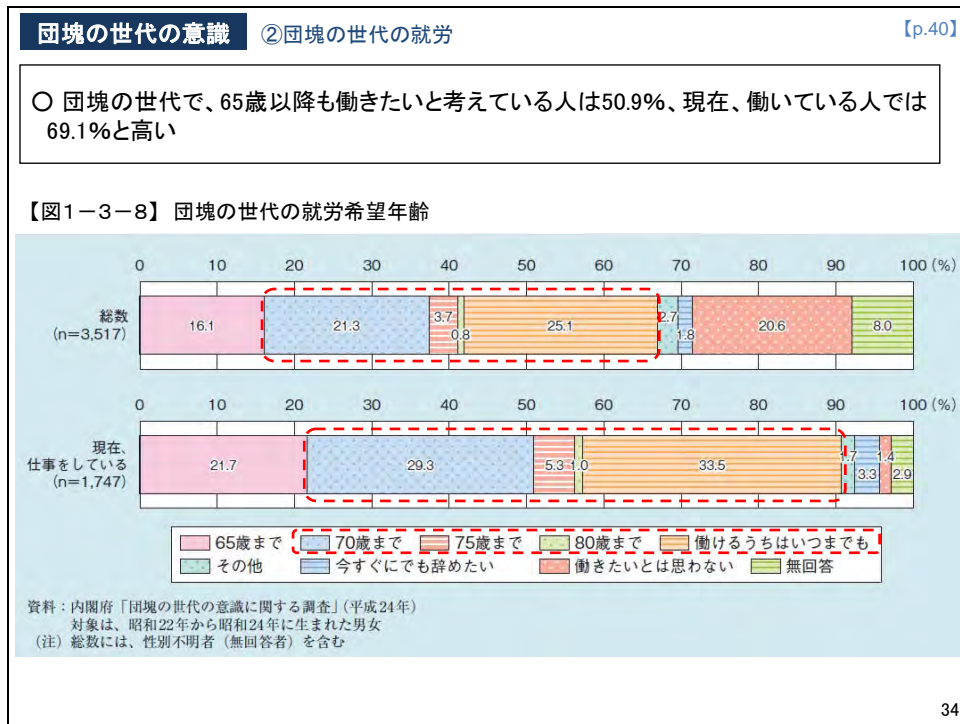


それから、40 頁でございます。団塊の世代の就労希望年齢でございます。

これはいつまで働きたいかでございますが、65 歳以上でも働きたいと考えていらっしゃる方は、50.9% になります。上の帯グラフで、点線で囲っている部分は、70 歳まで、75 歳まで、その隣はちょっと少ないのですが 80 歳まで、そして「働けるうちはいつまでも」と答えた方の割合です。それらを合わせますと、50.9%の方が 65 歳以上でも働きたいと考えていらっしゃいます。

下の帯グラフは、現在仕事をしている方だけで集計した結果でございますが、大体 7 割の方が 65 歳を超えても働きたいと考えておられます。



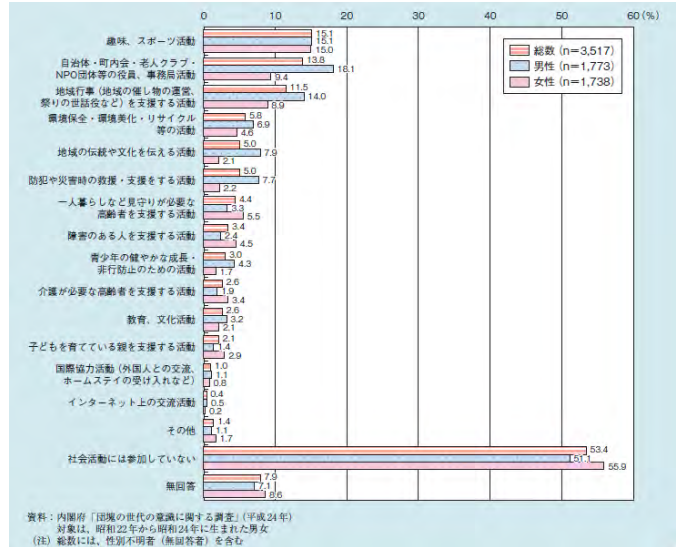
< 団塊の世代の社会参加 >

41 頁は、団塊の世代で、社会活動に参加しているかどうかについて聞いたものでございます。

これは、現在参加している社会活動について聞いたもので、一番下が「社会活動に参加していない」とお答えになったものを示しております。これは結構高く、団塊の世代で社会活動に参加している方の割合は 38.7% という状況に留まっております。

○ 団塊の世代で社会活動に参加している人の割合は38.7%

【図1-3-9】 団塊の世代の社会活動の参加状況(複数回答)

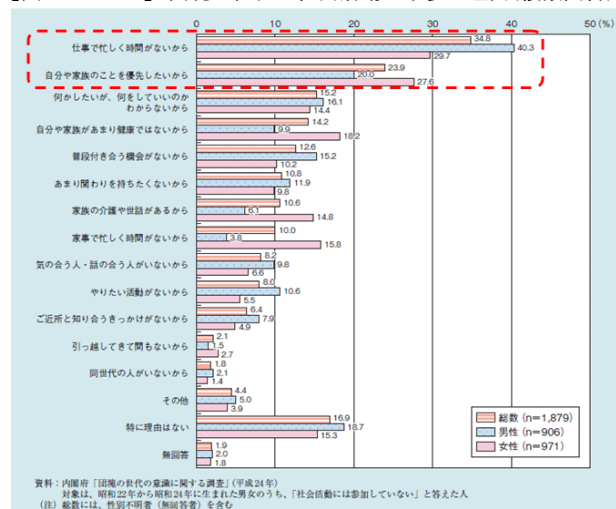


それから、続きまして、資料は 42 頁でございます。団塊の世代の方は、社会活動にそれほど参加していませんが、その理由を聞いてみました。

最も多かったのは、「仕事が忙しくて時間がないから」でして、次いで「自分や家族のことを優先したいから」が多くなっております。

○ 団塊の世代の社会活動に参加していない理由は、「仕事で忙しく時間がないから」が最も多く、次いで「自分や家族のことを優先したいから」が多い

【図1-3-10】 団塊の世代の社会活動の不参加理由(複数回答)



次が 44 頁でございます。団塊の世代の今後参加したい社会活動について聞いたものでございます。上の方から、点線で囲ったものでございますが、一番多いものが「趣味・スポーツ活動」となっており

ます。次いで、男性ですと「地域行事を支援する活動」、女性ですと「高齢者を支援する活動」が多くなっております。

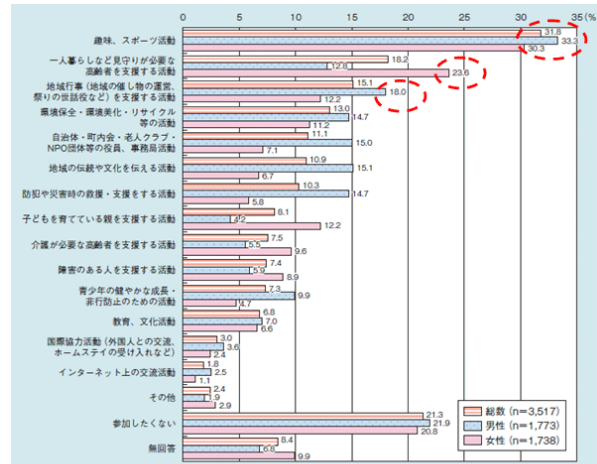
団塊の世代の意識

③団塊の世代の社会参加

[p.44]

- 団塊の世代が今後参加したいと思っている社会活動は、「趣味・スポーツ活動」が最多
- 次いで、男性は「地域行事支援」、女性は「高齢者支援」が多い

【図1-3-12】 団塊の世代の今後参加したい社会活動（複数回答）



資料：内閣府「団塊の世代の意識に関する調査」（平成24年）
対象は、昭和22年から昭和24年に生まれた男女
（注）総数には、性別不明者（無回答者）を含む

37

それから 45 頁でございます。団塊の世代の方の社会活動への参加のきっかけでございます。

上の方が参加している人の、参加のきっかけの割合を帯グラフにしたものでございますけれど、一番多かったものは「友人や地域住民と一緒に参加できた」となっております。

下の方は、現在社会活動に参加していない人の、今後参加のきっかけになるのではないかと思います。これについて聞いたものでございます。これをみますと、「参加する時間的な余裕ができた」ということがきっかけになるのではないかと答えた方が多くいらっしゃいます。

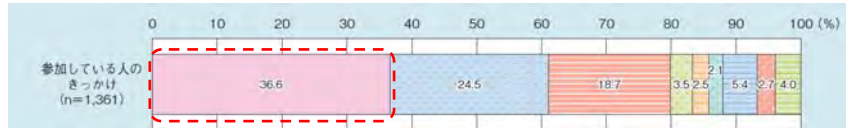
団塊の世代の意識

③団塊の世代の社会参加

[p.45]

- 社会活動参加のきっかけは「友人や地域住民と一緒に参加できた」が最多で36.6%
- 現在、参加していない人が参加のきっかけになると思うことは「参加に時間的な余裕ができた」が最多で18.6%

【図1-3-13】 団塊の世代の社会活動参加のきっかけ



【図1-3-14】 団塊の世代の社会活動参加のきっかけ
（現在、社会活動に参加していない人が参加のきっかけになると思うこと）



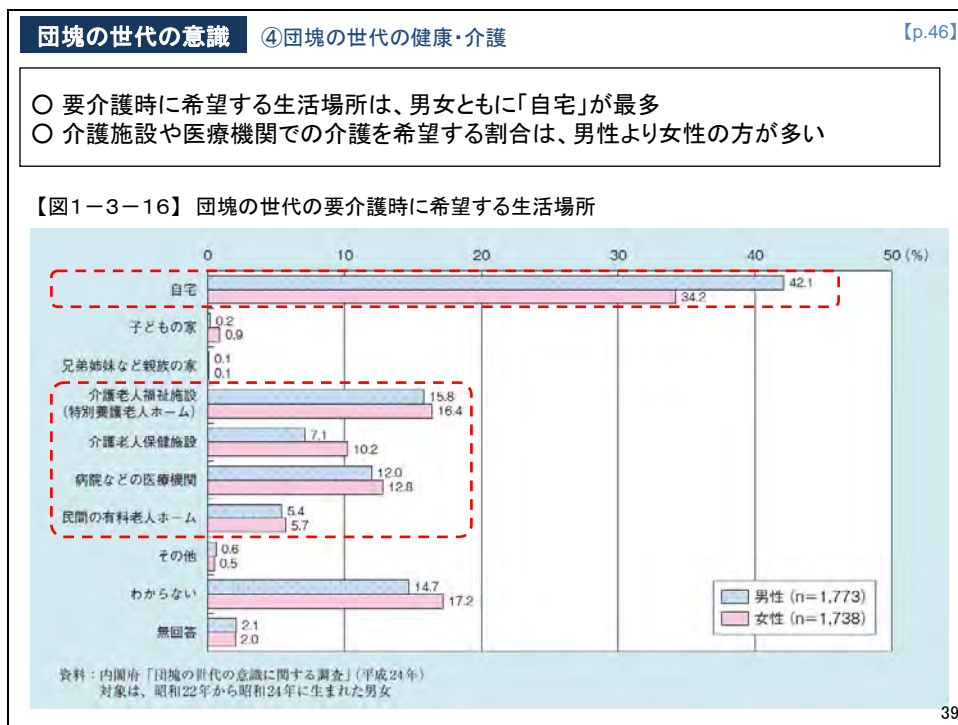
資料：内閣府「団塊の世代の意識に関する調査」（平成24年）
対象は、昭和22年から昭和24年に生まれた男女のうち、「社会活動には参加していない」と答えた人

38

<団塊の世代の健康・介護>

次は 46 頁でございます。ここからは、団塊の世代の方の健康ですとか、介護についてのデータになります。

介護が必要になった時に希望する生活場所は、男女ともに自宅が多いということでございます。これは、一番上の点線で囲っているところでございます。これは上が男性、下が女性でございます。一番多いのは自宅ということで男女とも同じなのですが、それに次いで、下の方に点線で囲っているところがございしますが、それについては男女で異なっています。介護施設や医療機関での介護を希望する割合は、男性より女性の方が多いうようになっております。



次に 47 頁です。「介護が必要になった場合、主に誰に介護を頼むつもりですか」ということを聞いたものでございます。

男女とも配偶者を希望するという方が最も多く特に男性は、過半数の方が配偶者に介護してもらいたいとなっております。ところが、女性の場合は 26.6%しかおりません。では、誰に介護を頼むつもりかと言いますと、女性の場合、ホームヘルパーや訪問看護師、施設や病院の職員・看護師というように、訪問看護や施設での介護を希望する方が多くなっております。点線で囲ってはございませんが、上から 2 つ目の棒グラフにございますように、子どもとお答えになった方も女性では 1 割以上いらっしゃいます。